

平成 28 年度 公益財団法人きょうと京北ふるさと公社事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

(第 4 期)

## I 総括

発足以来 15 年が経過し、公益財団法人へ以降後 4 期目となる平成 28 年度は、少子高齢化が進行し、基幹産業の一つである農業離れが深刻化する京北地域に於いて、農業公社として公社事業の柱でもあり重要な地域課題にも成っている、優良農地の保全や農業を守る担い手農家の確保・育成等に具体的に取り組むため、専門知識のある職員の配置による組織体制の強化も図り進めてまいりました。

担い手農家の規模拡大や効率的な農業を行うための、農地利用集積円滑化事業や農地中間管理機構制度を活用した農地集積の推進、農地保全にもつながる地域農業の後継者を育てるための、新規就農者の受入れ態勢の整備等、設立目的に沿って農を中心とする公益事業を展開する中で、将来の事業展開も見据えて取り組んだ年度でありました。

公益事業としては、他にも地域の活性化につながる事業として、従来から取り組んでいる空き家紹介について、自治振興会や京都市との連携の中で情報の共有化を図り、一人でも多く京北地域への定住促進につながるよう努めるとともに、市民農園の運営やイベントの実施・参加等を通じて“地域が元気になる”ための取り組みも行いました。

また、(公財)京都市学校給食協会への働きかけにより、平成 29 年度から京北 3 小学校への、米飯給食用京北米「コシヒカリ」の供給が行える事になり、「地産地消」に伴う取り組みの事業量拡大につなげる事ができました。

地域交通事業では、効率的で利便性のあるふるさとバスの運行を、将来に亘って行うための社会実験に平成 28 年度も協力し、その結果に基づき平成 29 年度からのダイヤが一部改正される事と成りました。

公益事業を補完するための収益事業については、主に葬祭で利用のある貸館事業が、家族葬など葬儀形態の移り変わりにより利用が減少したこと、大型アウトドア施設である「宇津峡公園」については、新しくラフティング(川下り)による集客のための取り組みは行うものの、デイキャンプの利用が減少していること、「道の駅ウッディー京北」の喫茶部門についても、プラス収支が残せなかったことなどから、収益事業全体での当初計画による収益を確保することが出来ず、公益事業を補完するには至らなかったため、平成 28 年度の公社の事業運営は厳しい結果で締めくくる事となりました。

なお、老朽化が進む公社施設の整備に伴い、京北の『農の学校』としての機能も発揮出来る拠点施設の建設について、京都市所管課と何度も話し合いを重ねてまいりましたが、平成 29 年度での予算化がされず残念な結果となりました。

## II 理事会・評議員会の開催

### 《 理事会 》

第1回理事会 平成28年5月13日(金)

- 1 平成27年度 事業報告書の承認の件
- 2 平成27年度 会計決算報告書の承認の件
- 3 理事並びに評議員の辞任に伴う評議員会への後任候補者推薦の件
- 4 平成28年度 第1回評議員会開催の件

第2回理事会 平成28年8月25日(木)

- 1 特定資産の取り崩しの件
- 2 学校給食味噌の手数料引き下げ要望の件

第3回理事会 平成29年2月10日(金)

- 1 合併記念の森創設事業の実施に伴う 補正予算第1号(案)の承認の件

第4回理事会 平成29年3月14日(火)

- 1 平成29年度 事業計画(案)の承認の件
- 2 平成29年度 収支予算(案)の承認の件
- 3 平成28年度 第2回評議員会開催の件

### 《 評議員会 》

第1回評議員会 平成28年5月30日(月)

- 1 平成27年度 事業報告書の承認の件
- 2 平成27年度 会計決算報告書の承認の件
- 3 辞任に伴う理事並びに評議員選任の件

第2回評議員会 平成29年3月22日(水)

- 1 平成29年度 事業計画(案)の承認の件
- 2 平成29年度 収支予算(案)の承認の件
- 3 平成29年度 役員報酬総額の承認の件

### Ⅲ 平成 28 年度 主要事業の内容

#### 1. 管理部門

将来を見据え、地域からの期待や要望に応えられる計画的な施設や組織整備、経営の改善等、健全な公社作りのために取り組んでまいりました。

##### 【施設整備】

新規就農者支援対策も目的とした京北の「農の学校」として、老朽化に伴う公社建物の建替えについて、「過疎地域自立促進特別措置法」の基で実現されるよう京都市所管課とも何度も打ち合わせを行い、平成 29 年度に予算化されるよう具体案を検討してまいりましたが、結果として予算化されることはなく残念な結果となりました。

しかしながら、今後も引き続き有害獣対策による加工場の建設や地域交通事業部事務所等の移転、道の駅の整備と合わせ進めてまいりたく考えます。

##### 【組織強化】

定款や各種規程を遵守し、定期的な所属長・出納責任者会議も開催するなか、管理者の資質向上に取り組むとともに、事業別に採算の取れる事業運営を目指し取り組んでまいりましたが、平成 28 年度の公社の事業収支は厳しい結果となりました。

##### 【その他】

公社事業の紹介や事業利用を促すため、機関紙である「ほくほくだより」を二回発行いたしました。

#### 2. 事業部門

##### (1) 農地利用集積円滑化事業

京北地域の実態を見るとき、農地・農業に関する事業は今後ますます重要視される事業であり、本公社としては農業公社としての役割を果たすため、本事業を公社事業の柱として取り組むとともに、農地利用集積円滑化団体として、農地の「中間保有・再配分機能」を活かし、農地の借り受けや貸し付け並びに売買等に関わり、担い手農家の経営規模拡大や新規就農者への支援活動につながるよう積極的に取り組んでまいりました。

併せて、将来の地域農業を守り担っていただくべき新規就農者育成を、本公社として平成 29 年度から具体的に取り組むための準備も進めてまいりました。

特に、京北地域の窓口と成っている「農地中間管理機構制度」による農地集積については、平成 28 年度も相当な時間数を費やし、貸し手と借り手のマッチングに至るまでの取り組みをすすめてまいりました結果、平成 28 年度は、5 件の

成立実績を残すことができました。

また、農地集積が「農地中間管理機構制度」の活用に移行する傾向があるなか、マッチングに至るまでに時間を要する事や、種々の条件もクリアしなければ成らないこともあり、公社が従来から農地利用集積円滑化団体として取り組んできた、利用権設定による農地の貸し借りや農地売買についても相談対応を行い、平成 29 年度への取り組み実績へつなぐ事ができました。

〔農地利用集積円滑化事業実績〕 ※ 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日迄

|                            |   |   |
|----------------------------|---|---|
| ◇ 平成 28 年 4 月 1 日現在の継続物件   |   |   |
| 一時保有農地件数                   | 0 | 件 |
| ◇ 買入れ農地（田）                 |   |   |
| 件数                         | 0 | 件 |
| ◇ 売り渡し農地（田）                |   |   |
| 件数                         | 0 | 件 |
| ◇ 平成 28 年度末の平成 29 年度への継続物件 |   |   |
| 手続き中の物件数                   | 2 | 件 |
| ◇ 利用権設定                    |   |   |
| 件数                         | 0 | 件 |

〔農地中間管理制度による実績〕

|                 |   |         |                       |
|-----------------|---|---------|-----------------------|
| ◇ 成立件数（マッチング件数） | 5 | 件（10 筆） | 23,650 m <sup>2</sup> |
| ◇ 成立実績内訳        |   |         |                       |
| 山国地区            | 2 | 件（3 筆）  | 7,864 m <sup>2</sup>  |
| 弓削地区            | 1 | 件（1 筆）  | 3,107 m <sup>2</sup>  |
| 周山地区            | 1 | 件（4 筆）  | 7,458 m <sup>2</sup>  |
| 宇津地区            | 1 | 件（2 筆）  | 5,221 m <sup>2</sup>  |

## （2）田舎の便利屋事業

### 【地域担い手確保事業】

地域の方々からの幅広い要望に応えるため、田舎の便利屋事業として多種多様な作業を受託し、リストによる人材登録者への作業依頼により取り組みを進めました。

草刈などの農作業を中心に、出来る限り多くの依頼に応えられるようまた、登録者への依頼も偏ることの無いよう取り組んでまいりましたが、登録者の年齢の高齢化と新しい人材登録者不足等により、以前の作業が受けられない状況や、一度に多くの人材が必要な作業依頼には対応できない状況が生じるなど、今後課題を残す現状となっています。

そのような状況のなかではありましたが、平成 28 年度の事業実績としては、細かな作業依頼に数多く対応できたことにより、昨年度対比で受託件数が 70 件余り多く、受託金額も 100 万円余り多い結果を残すことができました。

- ◇ 登録者数（平成 29 年 3 月 31 日現在）  
186 人（60 歳以上 141 人、60 歳未満 42 人、団体等 3 団体）
- ◇ 受託件数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
469 件（前年度 394 件）
- ◇ 作業延べ人数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
2,655 人（前年度 2,170 人）
- ◇ 受託金額（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
28,026,980 円（前年度 27,014,149 円）

### 【農作業受託事業】

農業者(農家)の高齢化による農作業依頼に対応するため、農作業受託部会による春作業(畦付け・耕起・代かき・田植え等)並びに、秋作業(稲刈り・籾運搬・肥料散布・耕起等)の受託に取り組みました。

#### 〔農作業受託実績〕

|             |        |                        |
|-------------|--------|------------------------|
| ◇ 春作業（受託件数  | 78 件)  |                        |
| 耕    起      | 20 件   | 504.64 a（再耕起含む）        |
| 代    か    き | 19 件   | 452.53 a（ハロー、ロータリー含む）  |
| 田    植    え | 27 件   | 518.38 a               |
| 畦    付    け | 11 件   | 2,153 m                |
| そ    の    他 | 1 件    | 苗箱代 他                  |
| ◇ 秋作業（受託件数  | 129 件) |                        |
| 隅    刈    り | 11 件   | 17 枚                   |
| 刈    取    り | 25 件   | 497.60 a               |
| 籾    運    搬 | 20 件   | 240,086.00 kg（籾乾燥含む）   |
| 耕    起      | 14 件   | 333.92 a（ディスク、ロータリー含む） |
| そ    の    他 | 69 件   | 肥料散布、乾燥、籾摺り 他          |

### （3）地域活性化事業

#### 【地域特産物開発研究事業】

道の駅ウッディー京北における加工食品の取扱高は、総売り上げの 3 分の 1 を占めており、平成 28 年度も京北地域の特産物として、加工食品に力を注い

でいるグループの商品を積極的に取扱い、5 千万円を超える販売実績を残すことができました。

「地産地消」と「食育」の取り組みについては、(公財)京都市学校給食協会との連携を密にし、京北地域の各小学校へ給食資材として京北産農作物を納入するとともに、京北特産の「まごころ味噌」を市内各小学校でも使用いただいております、取扱い実績を伸ばせるよう努めてまいりました。

しかしながら、野菜の取扱い高は児童の減少や、生産者の減少等による生産量の減少により、昨年以上の実績を残すことはできず、また「まごころ味噌」の取扱いについては、年間の学校給食での使用量が確保できていなかったことなどから、何れも昨年以上の取扱い実績を残すことはできませんでした。

そのような状況ではありましたが、「地産地消」に対する(公財)京都市学校給食協会からの強い要望にお応えし、平成 29 年度から京北の各小学校へ、本会社が生産する米飯給食用のコシヒカリを納入できることになったことは、今後につながる取り組みとして大きな成果でありました。

なお、公社に管理を依頼されている農地(井戸、辻、上弓削)において、平成 28 年度も米や野菜(ジャガイモ、サツマイモ、枝豆、小豆、玉ネギ、大根、白菜、キャベツ等)を独自栽培し、学校給食への提供、ウッディー京北や各イベントでの販売を行うことが出来ました。

道の駅ウッディー京北での端境期に於ける野菜の品不足は、依然として課題であるため、生産者への協力依頼と併せ今後も新しい生産者を増やすべく取り組まなければなりません。

- ◇ 道の駅ウッディー京北委託販売者会員数 (平成 29 年 3 月 31 日現在)  
194 名
  - ※ 内、生鮮食品販売者 94 名 加工食品販売者 40 名
- ◇ 道の駅ウッディー京北加工食品販売高 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末)  
50,210,850 円 (前年度実績 51,366,989 円)
- ◇ 道の駅ウッディー京北野菜販売高 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末)  
26,783,864 円 (前年度実績 24,405,481 円)
- ◇ 学校給食地産品取扱高 8,018,954 円 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末)
  - 野菜 489,438 円 (前年度実績 537,794 円)  
納品総重量 1,366.5 kg (前年度実績 1,154.3 kg)
  - 米 53,920 円 (前年度実績 57,600 円)  
納品総重量 134.8 kg (前年度実績 144.0 kg)
  - 味噌 4,466,421 円 (前年度実績 7,423,560 円)  
納品総重量 7,820.5 kg (前年度実績 12,130.0 kg)

#### 【ふるさと振興等調査研究事業】

相談者の京北地域への定住促進を図るため、空き家情報の収集・提供に取り

組むとともに、10年目となる「市民農園」の運営に取り組み、農園利用者との交流と地域活性化並びに農地の活用を図りました。

#### ① 空き家情報の提供による定住促進

京北地域には、250戸を超える空き家があるにもかかわらず、空き家提供者はごく僅かであるため、相談者の要望を満たし定住に結びつけるための情報提供が乏しく、問い合わせや相談に十分な対応が出来ない状況であったため、平成28年度は京北地域の空き家相談窓口となっている、京都市(京北出張所)や自治振興会とも情報を共有しながら定住促進に取り組みました。

京北地域全体では10件の定住実績があり、満足な結果を残すことは出来ませんでした。内2件が公社としての取り扱い実績となりました。

##### ◇ 平成28年度取り組み実績 (平成28年4月～平成29年3月末)

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 新規空き家登録件数 | 2件 (空き家登録合計 6件) |
| 定住者件数     | 2件 (弓削・山国)      |
| 相談受付件数    | 12件             |

#### ② 市民農園「京北ふるさと農園さんりょう」の利用者拡大と運営

開園10年目となる市民農園では、地域活性化の一環として農園を通じて利用者との交流を図り、土・日、祝祭日を中心に京北地域へ来ていただけるよう取り組みを進めました。

農園の利用については、高齢化等により従来からの利用者の継続利用や、複数区画の利用が減少している状況にあります。

そのような現状のなかではありますが、年間を通じ利用者の募集も行い、最終的に平成28年度の実績としては、利用者は昨年と同じ22名でありましたが、利用区画については昨年を上回る35区画の利用をいただくことができました。

恒例となっている秋の収穫祭では、農作物の品評会を行い、昼食時には農園利用者、地元寺山地域の住民の方々、公社関係者、合わせて41名が、炊き込みご飯や猪鍋などで昼食をとりながら、交流を深めることができました。

なお、農園の空き区画については、公社イベントでの使用や販売のための野菜を栽培し有効活用いたしました。

##### ◇ 平成28年度「市民農園」利用実績

|             |       |                     |
|-------------|-------|---------------------|
| 募集区画数       | ..... | 57区画                |
| 利用区画数及び利用者数 | ..... | 35区画、22名            |
|             |       | ※ 平成27年度 32区画、22名   |
| 年間利用料       | ..... | 一区画(約40㎡)当たり15,000円 |

◇ 市民農園でのイベント

収穫祭 …… 実施日：11月19日

参加者：41名(農園利用者、地域住民、関係者(京都市、JA、公社))

【都市と農山村交流事業】

都市住民との交流により地域活性化を図るため、年間計画として市民農園や道の駅ウッディー京北等でのイベントを開催し、都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベントにも積極的に参加し京北地域のPR活動に努めました。

[平成28年4月～平成29年3月末 主催イベント]

◇ 市民農園 (1回)

- ・11月19日 市民農園収穫祭  
内容：品評会・昼食を囲んでの交流・ボン菓子  
猪鍋・炊き込みご飯・焼き芋

◇ 道の駅ウッディー京北 (2回)

- ・10月23日 秋の感謝祭  
内容：ボン菓子販売・餅つき
- ・12月18日 年末終い市  
内容：餅つき、おでん販売

[平成28年4月～平成29年3月末 参加イベント]

◇ 京北地域内 (2回)

- ・8月16日 京北夏まつり  
内容：鹿肉コロッケ販売
- ・11月3日 京北ふるさと祭り  
内容：野菜販売・鹿肉カレー販売

◇ 京北地域外 (13回)

- ・7月16日 イオンモールイベント (イオン五条)  
～18日 内容：サポート参加
- ・10月16日 深草ふれあいフェスタ (藤ノ森神社)  
内容：枝豆他野菜の販売
- ・10月29日 京都市体育協会イベント (わかさスタジアム)  
内容：野菜の販売
- ・11月5日 京の農林秋まつり (伏見港公園)



- 内容：野菜・玉子かけごはん・焼き芋の販売
- ・ 11 月 12 日 右京区民ふれあいフェスティバル（太秦安井公園）
  - 内容：野菜販売・京北子宝芋コロッケ販売
- ・ 11 月 20 日 龍安寺イベント（龍安寺参道）
  - 内容：野菜販売・京北子宝芋コロッケ販売
- ・ 11 月 23 日 護王神社子宝芋イベント（護王神社境内）
  - 内容：子宝芋の販売と鍋の振舞い
- ・ 11 月 25 日 西の鯖街道物産展（大阪府千里中央広場）
  - 内容：高浜町、おおい町、南丹美山町、京都京北 4 町の特産品販売
- ・ 12 月 21 日 ジングルウィーク京都（ゼスト御池）
  - 内容：地域特産物販売
- ・ 12 月 23 日 旬の京野菜フェスタ（岡崎公園）
  - ～25 日 内容：野菜販売
- ・ 1 月 28 日 冬の京野菜フェア（京都市役所前広場）
  - 内容：野菜販売、京北鍋の販売
- ・ 3 月 11 日 ゼストイベント（ゼスト御池）
  - 内容：野菜販売
- ・ 3 月 20 日 丹波自然公園イベント（丹波自然公園）
  - 内容：野菜販売

#### （4）地域交通事業

##### 【京北ふるさとバス】

3 年に一度更新される、「公共交通空白地有償運送事業」の初年度として、地域唯一の公的生活交通手段として、地域住民の安全・安心な“足”となるよう、京都市との連携のもとふるさとバスの運行に取り組んでまいりました。

年間を通じて無事故で安全なバス運行を行うため、公安委員会が実施する法定講習会に積極的に参加し、月一度のミーティングで学んだ知識を乗務員全員で共有できるよう取り組むとともに、地域から信頼され愛されるバス事業に取り組むため、地域バス案内所に於ける、京北地域の交通案内や観光に関する問い合わせ対応をはじめ、定期券の発券、共通回数券の販売など、利用者の利便性を図る取り組みも継続して行ってまいりました。

しかしながら、ふるさとバスの状況としては、中学生の通学に伴う乗車が、運営に大きく影響することとなっており、少子高齢化の地域の実態から年々厳しい運営状況となっています。

そのため、平成 28 年度も将来に亘って存続可能で地域住民に必要な、利便性のある効率的なバスの運行を行うために、平成 26 年度から継続して取り組まれてきた乗車人員の減少を防ぐための社会実験にも協力し、特別料金の設定

もあり、運行収入は昨年対比で 95.5%(約 75 万円の減)であったものの、乗車人員は北桑田高校生の通学利用などで、99.7%(約 170 名の減)に留まりました。

また、平成 28 年度の社会実験結果に基づき、平成 29 年度からのダイヤが一部見直される事となり、運行の効率化につながる取り組みとなりました。

なお、11 月 3 日に取り組んだバス祭りでは、昨年に引き続き子供連れの多くの方に参加をいただきバスへの関心を深めていただきました。

◇ 平成 28 年度運行実績 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末)

乗車人員 66,315 人 (前年度実績 66,486 人)

運行収入 15,849,140 円 (前年度実績 16,596,780 円)

#### 【スクールバス】

京北地域の児童生徒の通学及び教育活動のため、京都市教育委員会から全面委託を受け、18,087,736 円の委託料により、スクールバス運行を行ってまいりました。

社会実験に合わせた運行も行うなか、学校や京都市教育委員会との連携を密に図り、ふるさとバス同様安全運行を第一の目標に掲げ、事故を起こすことなく一年間運行することができました。

### (5) 公共施設管理事業

#### 【地域特産物需要拡大センター「道の駅ウッディー京北」管理運営事業】

平成 28 年度は新たな 4 年間の、京都市指定管理者制度に基づく指定管理者としての 2 年目の年であり、「道の駅」としての三つの機能(休憩機能・情報発信機能・地域の連携機能)を果しながら、京北地域の中心に属する地域の拠点施設として、施設の管理運営事業に取り組みました。

ウッディー京北は、地域活性化や地域振興につながる公益的な委託販売事業部門と、喫茶に関する収益事業部門に分かれており、いずれも接客対応が重要視されるサービス業であるため、平成 28 年度は嘱託職員の配置も増やし、より充実した事業運営が図れるよう取り組みました。

職員のスキルアップと、日々の業務にヒントを得るための取り組みとして、委託販売に於ける生産者と共に他の道の駅への視察研修も行い、あるいは京北地域の PR や野菜を中心とした地域特産品の販売促進のために、地域外のイベントにも積極的に参加いたしました。

また、12 月には 11 月から取り組んだウッディー京北の店舗内の商品陳列に伴う「旬の京野菜ディスプレイコンテスト」に於いて、市長賞表彰を受けることができました。

このように、入館者の増加を図り事業実績を伸ばすために取り組んでまいり

ましたが、平成 28 年度の実績としては、入館者は 41 万人を超え昨年実績を 1 万人余り上回る実績となり、総売上げも過去最高の 1 億 4,760 万円余りの実績となりましたが、経費縮小を図ることができず、道の駅ウッディー京北の事業収支としてプラス収支を残せなかったことから、公社運営にも影響を及ぼす結果となりました。

- ◇ 道の駅ウッディー京北入館者数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
414,341 人（前年度実績 404,282 人）
- ◇ 道の駅ウッディー京北売上高（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
147,616,823 円（前年度実績 147,295,752 円）
- ◇ 年間レンタサイクル貸し出し実績 41 台

#### 【宇津峡公園管理運営事業】

京都市指定管理者制度に基づく、平成 27 年度からの指定管理者としての 2 年目の年であり、公益事業を補完する収益事業として重要な位置付けの事業である宇津峡公園管理運営事業は、都市住民との交流施設としてまた大型アウトドア施設としてコテージ、キャンプ場等の利用拡大に取り組みました。

集客と施設利用の実績増加を図るための取り組みとして、新たに昨年度から準備を進めていたラフティング(川下り)体験を実施し、200 名余りの方に体験いただき好評を得ることができました。

また、昨年度より実施してきたポイントカードについても、累計で 2 万枚を超える発行実績のなか、295 名の方にポイント利用により入園いただくことができ、リピーターの増加にもつながっています。

他にも、恒例となり定着してきたハロウィンや凧作りなどのイベント企画や、地域団体との宇津峡公園での催し PR など、年間を通しての施設利用と集客に積極的に取り組み、デイキャンプ場の利用が減少したため入園者実績は 11,773 人に留まりましたが、昨年よりも 60 万円余り多い 2,349 万円の収入実績を残すことが出来ました。

- ◇ 宇津峡公園入園者数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
11,773 人（前年度実績 12,698 人）
- ◇ 宇津峡公園収入金額（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末）  
23,495,951 円（前年度実績 22,921,151 円）
- ◇ ラフティング体験利用実績  
実施回数 9 回  
体験者数 206 名
- ◇ ポイントカード実績  
発行枚数 9,054 枚（累計 20,236 枚）  
ポイント利用による入園者 295 名（累計 387 名）

## (6) 葬祭関連事業

収益事業として公益的な事業を補完し、ふるさと公社の安定経営に向けた財務基盤を確立するための貸館事業として取り組んでまいりました。

老朽化に伴う施設の改修が課題ではあるものの、マイクロバスによる火葬場への送迎や初七日法要対応など、利用いただく地域の皆様に利便性を感じていただける事業となるよう利用促進に努めました。

しかしながら、地域の高齢化・核家族化が進み住民意識も変化するなか、小規模で密やかに執り行われる家族葬が増えるなど、葬儀形態も大きく移り変わる現状にあり、情報紙等で家族葬対応が可能であることもお知らせしてまいりましたが、年間利用が 30 件を割る実績となり、公社運営にも影響を及ぼす結果となりました。

### ◇ 会場利用実績

|                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末までの利用件数 | 29 件  |
| オープン(平成 16 年)以降の累計              | 470 件 |

## (7) 農産物処理加工施設整備事業 (大豆の里京北「第 6 次産業」化拠点施設整備事業)

平成 24 年度に施設が完成し、施設名称を『山国「水・土・里の館」』として、事業開始から 4 年が経過する中、京北まごころみその生産を中心に、納豆餅やその他農作物の加工生産及び販売に取り組んでまいりました。

実質の管理・運営は山国さきがけセンターが行っており、公社は事業主体として、施設に関連する減価償却などの事務処理関係についての役割を担っています。

|      |          |              |       |              |
|------|----------|--------------|-------|--------------|
| 《参考》 | 平成 28 年度 | 京北まごころ味噌加工実績 |       |              |
|      | 仕込実績     | 20,820 kg    | ※ 前年度 | 12,980 kg    |
|      | 売上実績     | 10,476,313 円 | ※ 前年度 | 11,620,161 円 |

## (8) 合併記念の森創設事業

京都市からの委託事業として平成 25 年度から受託しており、平成 28 年度も 9 月から臨時職員 1 名を週 2～3 日間勤務で雇用し、合併記念の森内の管理道路、歩道、建物管理等通常の維持管理や、倒木処理、崩土除去等の土木工事等に取り組みました。

また、12 月及び 3 月に実施された森づくりイベントにも積極的な協力を行い、特に平成 28 年度は当初より計画のあった散策マップの作成や、3 月のイベントに於いては、合併記念の森内の 2 箇所案内表示板の設置も行いました。

◇ 事業委託料 1,841,000 円

### (9) 山村地域担い手育成定着支援事業

平成 27 年度の補助事業により導入した農業機械を、支援対策として新規就農者へ貸付たり、あるいは公社の管理農地での農作物栽培等に使用するなど有効的に活用いたしました。

※ 平成 27 年度の本事業による導入機械

5 条植え田植機 1 台、管理機 1 台、畦付機 1 台、  
自走式草刈機 1 台